

日時 平成27年11月2日  
午後7時～9時  
場所 十三公民館



布	勢	地	区	
ま	ち	づ	く	り
ふ	れ	あ	い	
ト	ー	ク		

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

# 市長あいさつ

# ■出席者紹介

3

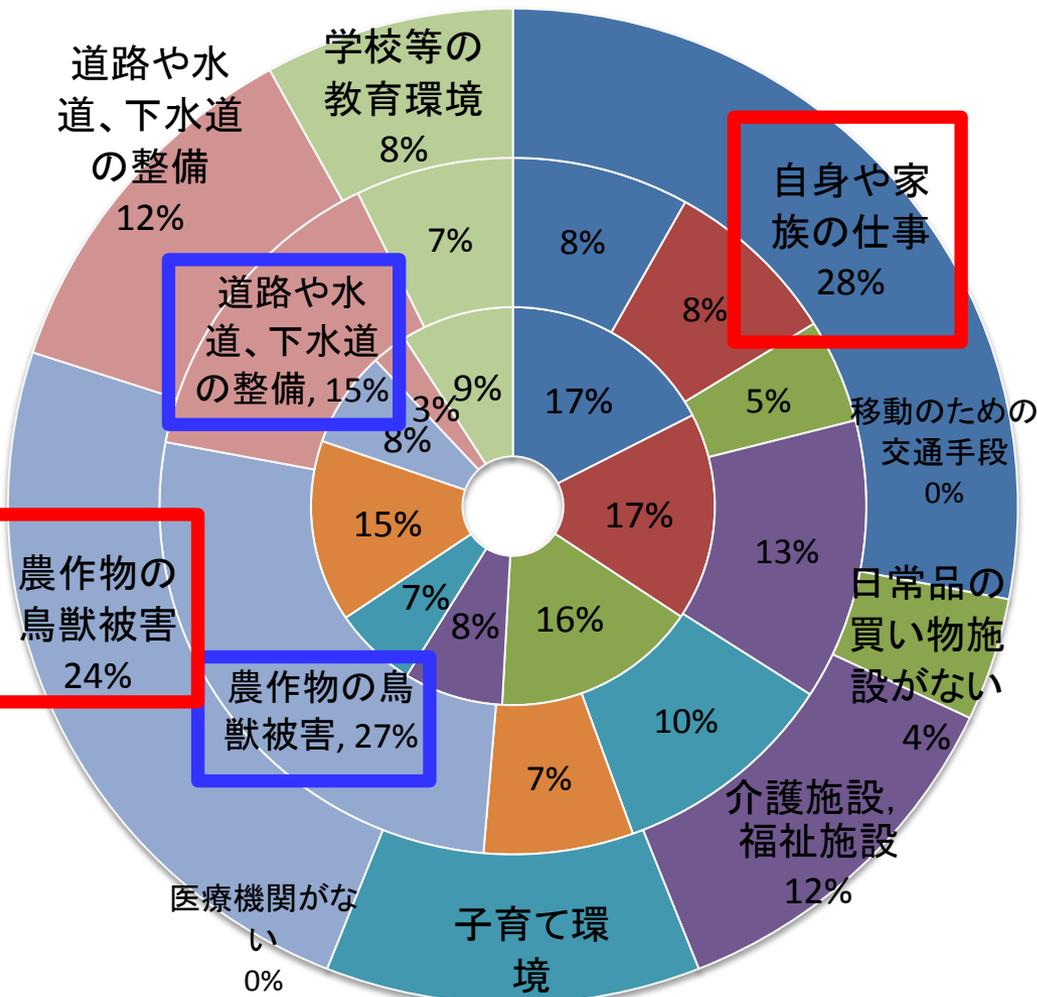
27まちづくり  
ふれあいトーク

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川 祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室
まちづくり推進部長	荒井 市郎	都市計画・まちのランドデザイン課 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 海浜植物園・花みどり推進室 魚々座・漁業文化推進室
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
教育次長	草山 利彦	教育総務課 学校教育課 教育総合センター 図書館 博物館
地域担当職員	中野 隆介	(所属) 税務課
地域担当職員	細川 奈々	(所属) 都市計画・まちのランドデザイン課

# 昨年のふれあいトーク報告

**困り事** 日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？

**関心事** ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？



- ・若者の仕事場が少ない(安定した収入の仕事)
- ・子供教育水準の底上げ(放課後の時間活用方法)。夢の(未来性)を持った教育

外円:布勢地区  
 中円:氷見市全体  
 内円:全国農漁村調査結果

27年度内

未定

可能

国・県等市以外の事業

1803-湖南小周辺道路の拡幅、駐車場整備

国・県等市以外の事業

1807-不要なため池の撤去

参考意見

※会場や現地確認で出たご質問やご要望を記載

## 対応済または対応中

- 1801-十三中余裕教室の活用
- 1802-湖南小、十三中の暖房
- 1805-下久津呂深原線の改修（継続）
- 1808-海岸のゴミ、松くい虫への対処
- 1810-飯久保新町公園内の大木処理
- 25/1194-農地基盤整備の促進
- 25/1196-十三中技術室の耐震化
- 25/1197-十三中美術室の環境整備
- 25/1198-十三中暖房設備の改修

## 28年度以降

- 1804-南インター開通後の交通対策
- 1806-飯久保新町の道路拡幅
- 1809-行きたくなるような市民会館
- 1811-野球場の計画

工事名 特別教室棟新築工事  
期 間 H27.9.25～H28.3.25  
金 額 70,621,200円

特別教室棟新築工事監理業務委託  
H27.9.24～H28.3.30  
2,700,000円

工事名 空調施設整備工事  
期 間 H27.7.10～H27.8.28  
金 額 4,874,400円



南側立面図



西側立面図



東側立面図



北側立面図

## ハード

電気柵、ワイヤーメッシュによる侵入防止総延長 約514km(H27.11/2)  
 捕獲檻17基増設予定 総数109基



## 有害鳥獣被害防止対策補助金

○侵入防止柵（電気柵、ネット柵等）

対象：団体、個人

金額：資材購入費の1/2  
 上限団体30万円  
 個人10万円



○恒久柵（ワイヤーメッシュ、金網柵等）

対象：集落

金額：資材購入費の1/2  
 上限100万円



## ソフト（環境づくり）

エサや隠れ場所対策等の周知用チラシ、  
 パトロール強化

**3つの対策(ケモノミクス)でイノシシ被害を抑えましょう!**

1.被害防除-電気柵などの設置により被害を守ります。  
 2.生態環境管理-周辺林地の草刈・置山整備をします。  
 3.捕獲-イノシシの個体数を減少させます。

**被害防除**

- タリップやわらいを外側に設置しましょう  
 電撃がイノシシの体にもよぶように、内側に設置しているからと中央部だけ設置する効果はありません。
- 電線の高さを1段階は20cm、2段階は40cmに合わせます  
 イノシシの背丈は成長に応じて変わります。動物園に近い場合は高さ合わせません。
- 地形に合わせた工夫をしましょう  
 電撃が効いていない場所を特定して、必要に応じて追加の電線を設置し、電撃が効くようにします。また、電線が地面に届かないように、支柱を立てて高さを調整します。
- 電気柵のこまめな下草刈り  
 電撃が効いていない場所を特定して、必要に応じて追加の電線を設置し、電撃が効くようにします。また、電線が地面に届かないように、支柱を立てて高さを調整します。

**生態環境管理**

- 水堀2層構（ヒコバエ）対策  
 水堀を2層にすることで、イノシシが水堀を渡る際に、水堀の底に落ち、溺れるリスクが高まります。また、水堀の周囲に草刈りを行い、イノシシの隠れ場所を減らします。
- 収穫残渣の除去  
 収穫後の残渣を適切に処理し、イノシシの餌となるものを減らします。

**捕獲**

○イノシシの捕獲  
 イノシシの捕獲には、専用の捕獲檻を使用します。捕獲檻には、イノシシが逃げられないように、扉を複数枚設置します。また、捕獲檻の周囲に草刈りを行い、イノシシの隠れ場所を減らします。

**その他**

- 風落くもみで対策-点検  
 風落くもみは、イノシシの隠れ場所を減らす効果があります。また、点検を行い、イノシシの侵入を確認します。
- イノシシの生態について学ぶ  
 イノシシの生態について学ぶことで、被害防止の対策を効果的に実施できます。
- 効果のない対策  
 イノシシの生態について学ぶことで、効果のない対策を避けることができます。

## 捕獲数

10/31現在 **644頭**

26年度 同時期256頭 年計412頭

## お問合せ先

いのしし等鳥獣対策課 電話 30-7088

# 布勢地区の事業概要

# 地区の工事箇所

10

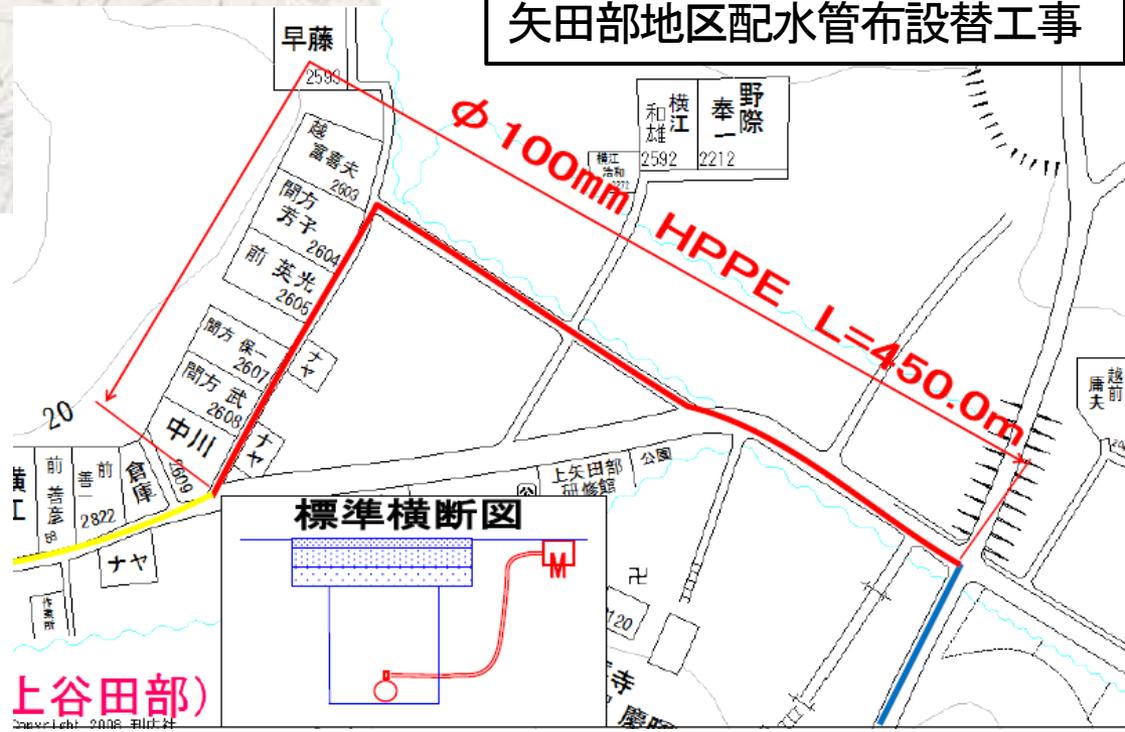
27まちづくり  
ふれあいトーク

実施年度	工事名	工事場所	契約日	完成日	契約金額または 予算額(円)
H27	配水管布設替設計委託	矢田部	H27.5.13	H27.6.26	1,598,400
H27	市道深原三田窪線法面補修工事	矢田部	H27.7.3	H27.9.30	950,400
H27	布施・深原調査区地籍調査H工程 業務委託	布施外1	H27.6.23	H28.2.26	3,078,000
H27	配水管布設替設計(その2)委託	矢田部	H27.7.22	H27.9.11	1,188,000
H27	矢田部地内配水管布設替(その 2)工事	矢田部	H27.8.31	H27.11.20	17,226,000
H27	矢田部地内配水管布設替工事	矢田部	H27.9.1	H27.11.20	12,938,400
H27	十三中学校非構造部材耐震化工 事実施設計業務委託	飯久保	H27.5.29	H27.6.24	1,674,000
H27	十三中学校非構造部材耐震化工事	飯久保	H27.7.29	H27.9.30	6,372,000
H27	十三中学校他空調施設整備工事	飯久保	H27.7.10	H27.8.28	4,874,400
H27	十三中学校特別教室棟新築工事 監理業務委託	飯久保	H27.9.24	H28.3.30	2,700,000
H27	十三中学校特別教室棟新築工事	飯久保	H27.9.25	H28.3.25	70,621,200
				H27計	123,220,800

深原三田窪線法面補修工事



矢田部地区配水管布設替工事



実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施(10月14日)	5,000	健康課	
H27	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。(10月14日)	職員対応	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(6月25日、2月25日)	2,100	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(11月26日)	3,000	健康課	
H27	健診PR活動(旗立て)	受診勧奨のため、地区内に健診PRの旗をたてる(7~9月)	2,000	健康課	
H27	道路整備地域支援事業	下矢田部 市道側溝改修	459,344	建設課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算 額	担当課	備考
H27	道路の原材料支給事業	上矢田部 簡易舗装材 20m3	194,400	建設課	
H27	土地改良事業費補助金	寺飯久保 水路整備	100,000	建設課	
H27	水路整備地域支援事業	飯久保地区	205,938	建設課	
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成 等)へ支援(布施 2,784,444円)、(深 原 1,032,500円)、(飯久保 724,950 円)、(矢田部 1,282,142円)	5,824,036	農林畜産 課	
H27	みどりの森再生事業	測量、境界等調査の実施(飯久保 22,500円)、(矢田部 33,750円)	56,250	農林畜産 課	
H27	氷見市有害鳥獣被害 防止対策補助金	電気柵 矢田部 3件	333,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
		H27計	7,185,068		



# 質疑応答

# 地方創生について

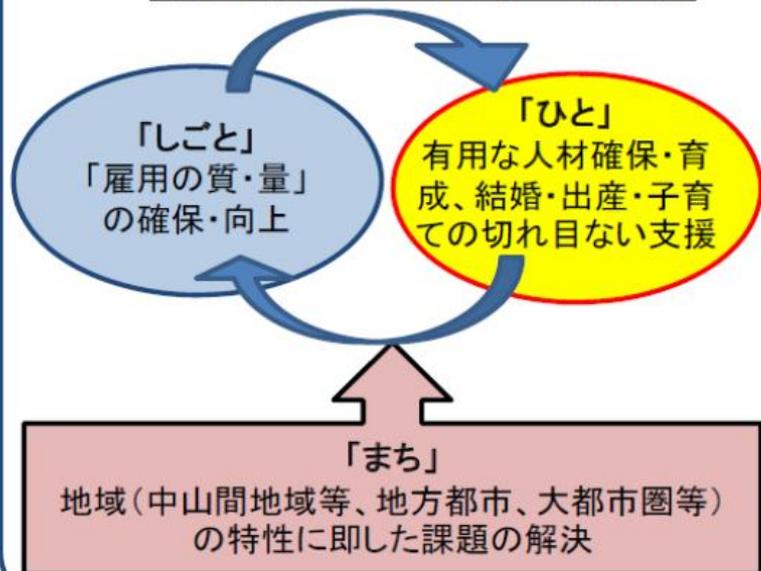
## まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

## 【基本的考え方】

## 【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、  
それを支える「まち」の活性化



## 【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
  - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
  - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「パラマキ」
  - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
  - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
  - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

## 【政策5原則】

- ▶ **自立性** 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- ▶ **将来性** 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- ▶ **地域性** 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- ▶ **直接性** ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- ▶ **結果重視** 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

# 「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

## 1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
  - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」  
「地域経済分析システム(RESAS)」

## 2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」:人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」:人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

## 3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

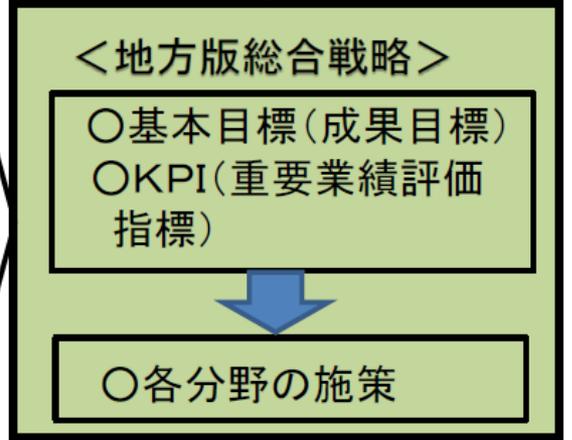
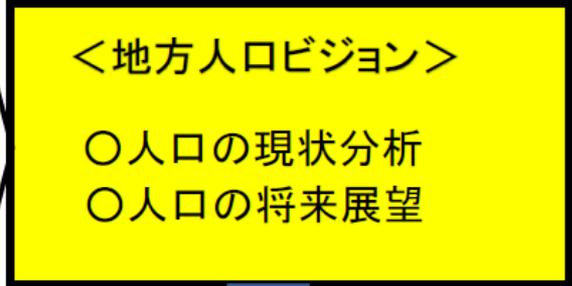
- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

## 4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

## 5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携



## 氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標

### 基本目標Ⅰ

(**安定した雇用**を創出する)

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

### 基本目標Ⅱ

(**新しいひとの流れ**をつくる)

「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する

### 基本目標Ⅲ

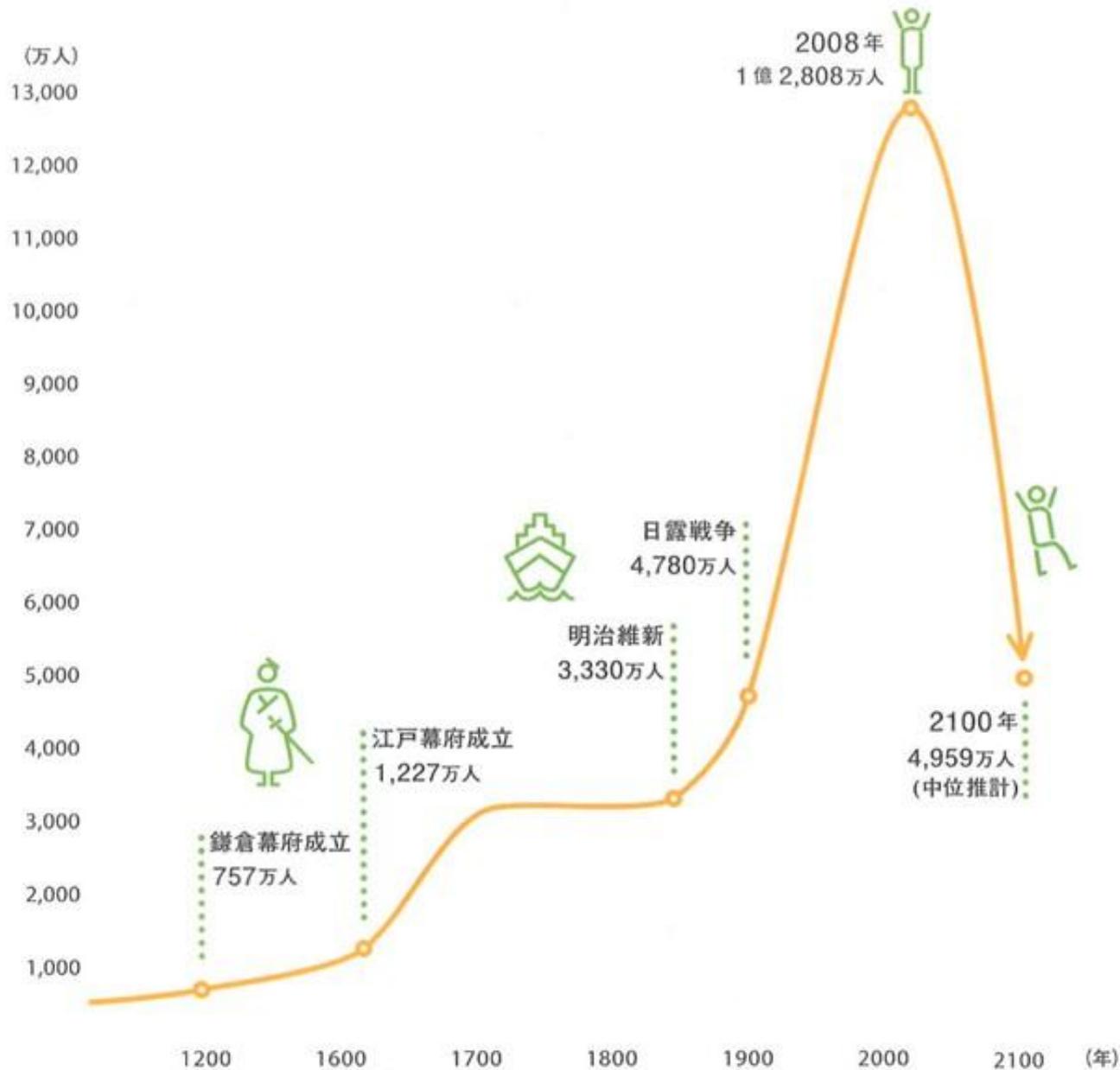
(**結婚・出産・子育て**の希望をかなえる)

氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

### 基本目標Ⅳ

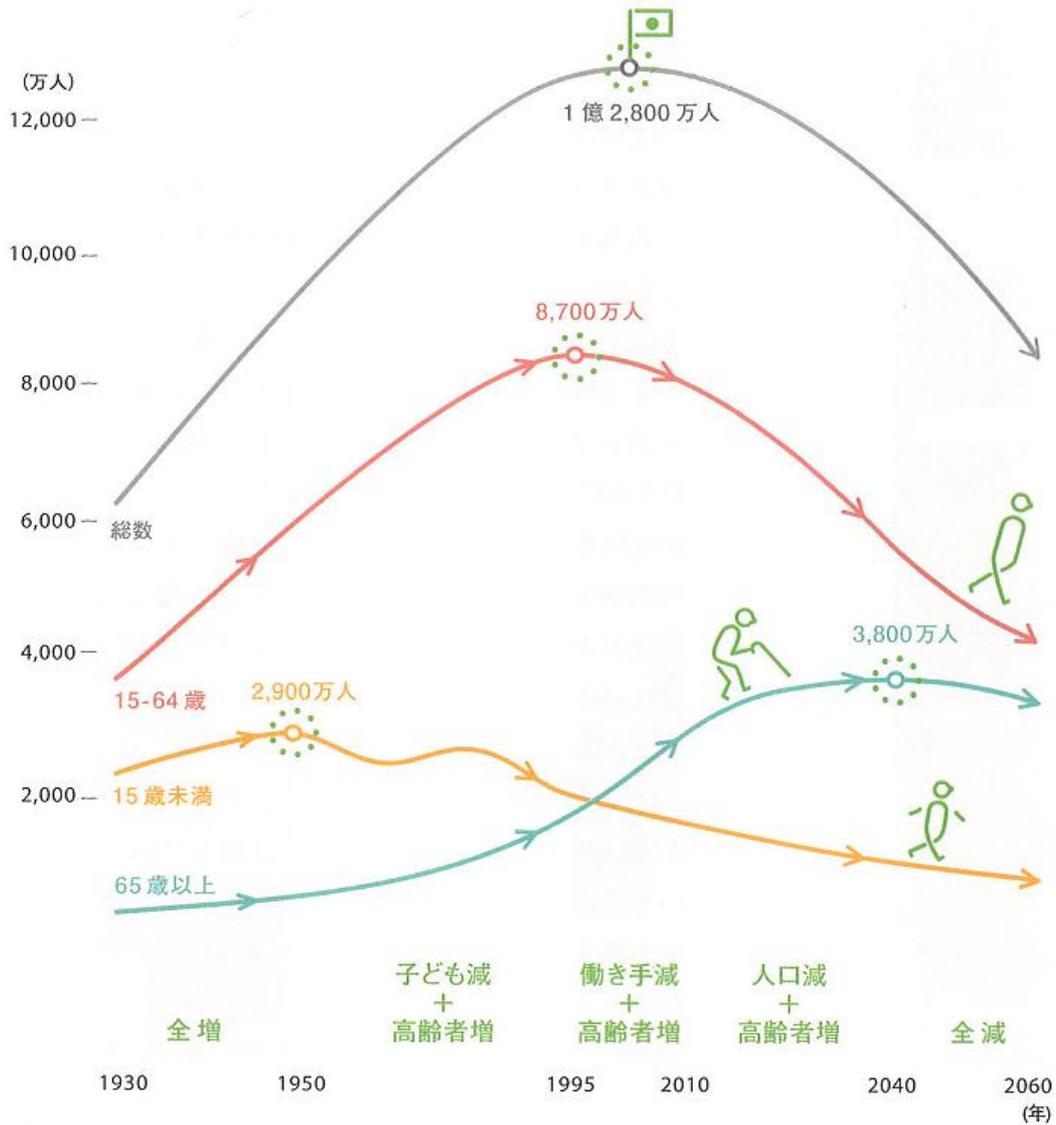
(**時代に合った地域**をつくり、**安心な暮らしを守る**とともに、地域と地域を連携する)

住み続けられる持続可能なまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する



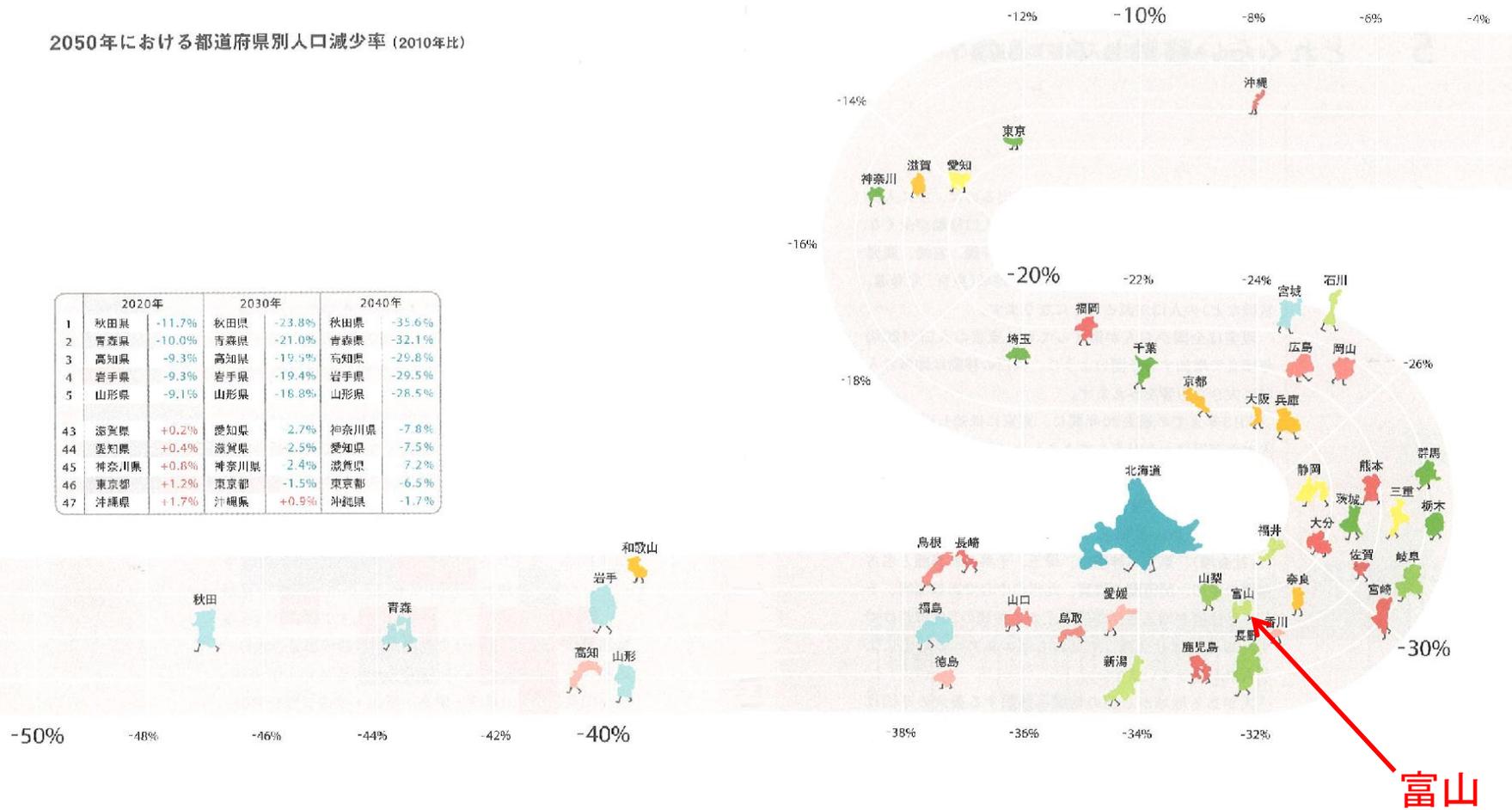
出典：人口減少×デザイン  
著 筧 裕介

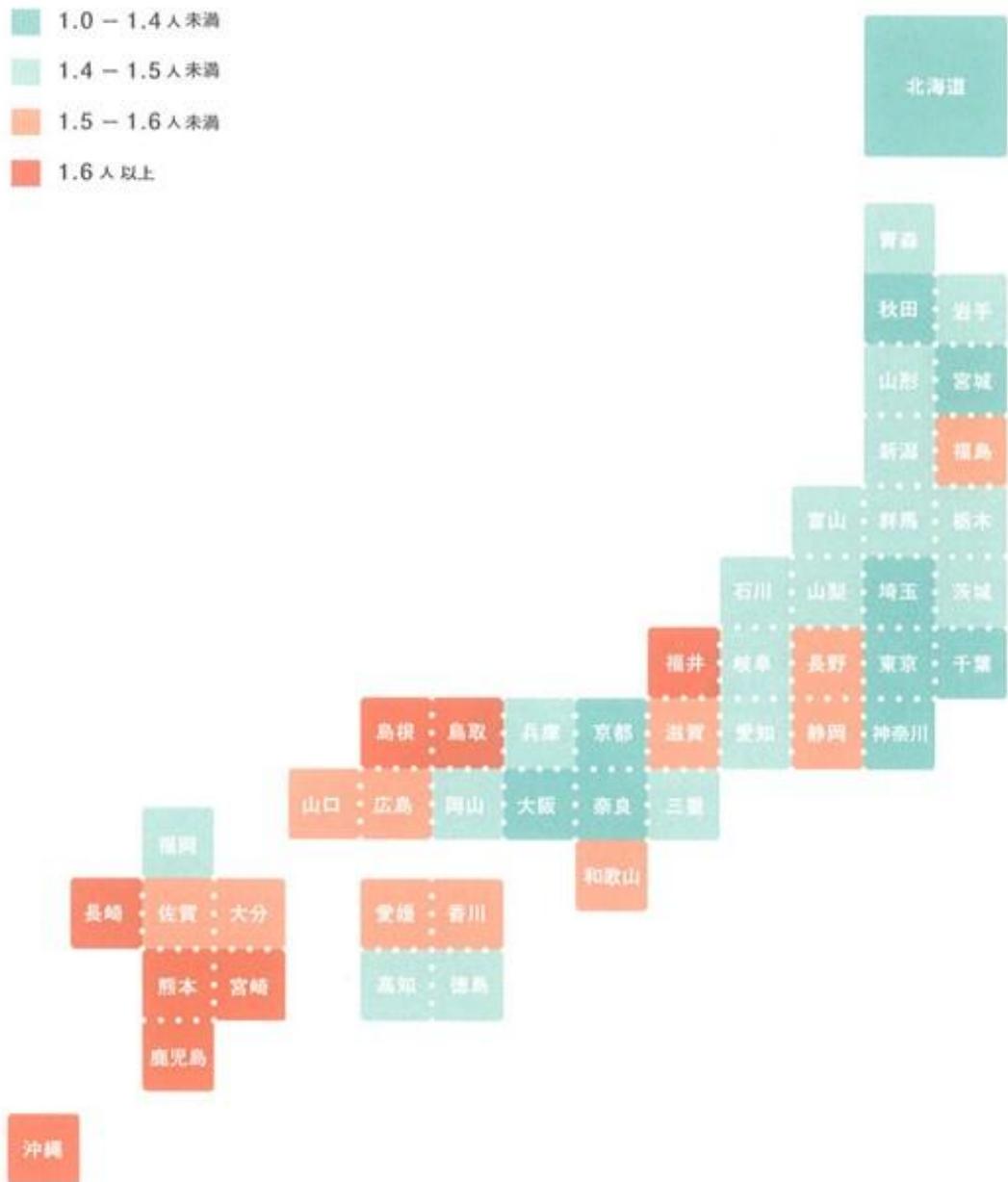
### 3区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



2050年における都道府県別人口減少率 (2010年比)

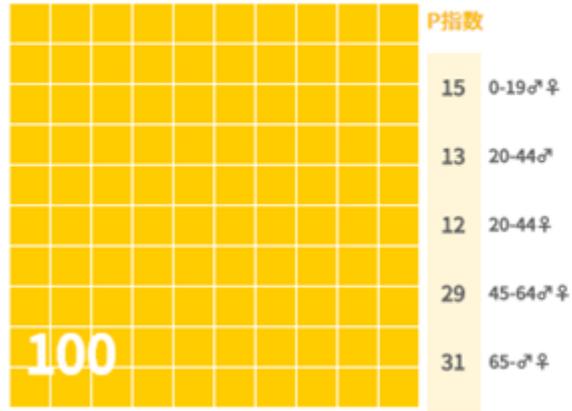
	2020年		2030年		2040年	
1	秋田県	-11.7%	秋田県	-23.8%	秋田県	-35.0%
2	青森県	-10.0%	青森県	-21.0%	青森県	-32.1%
3	高知県	-9.3%	高知県	-19.5%	高知県	-29.8%
4	岩手県	-9.3%	岩手県	-19.4%	岩手県	-29.5%
5	山形県	-9.1%	山形県	-18.8%	山形県	-28.5%
43	滋賀県	+0.2%	徳島県	2.7%	神奈川県	-7.8%
44	愛知県	+0.4%	滋賀県	-2.5%	愛知県	-7.5%
45	神奈川県	+0.8%	神奈川県	2.4%	滋賀県	7.2%
46	東京都	+1.2%	東京都	-1.5%	東京都	-6.5%
47	沖縄県	+1.7%	沖縄県	+0.9%	沖縄県	-1.7%





出典：人口減少×デザイン  
著 筧 裕介

2010



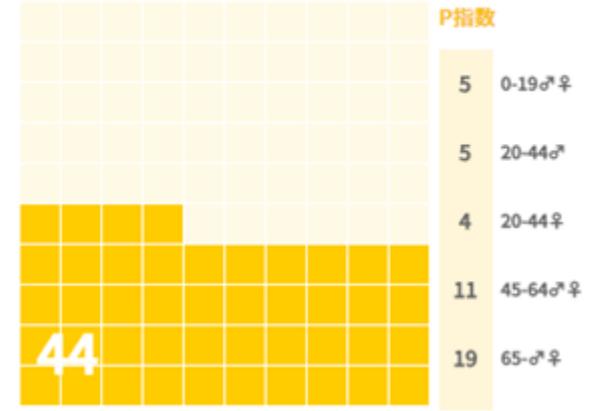
合計約51,000人

+

人口減少  
対策を行わない

=

2060



合計約23,000人

氷見市全体の20-39歳までの女性人口

2010年

4,824人



2060年

1,476人

布勢地区の20-39歳までの女性人口

2010年

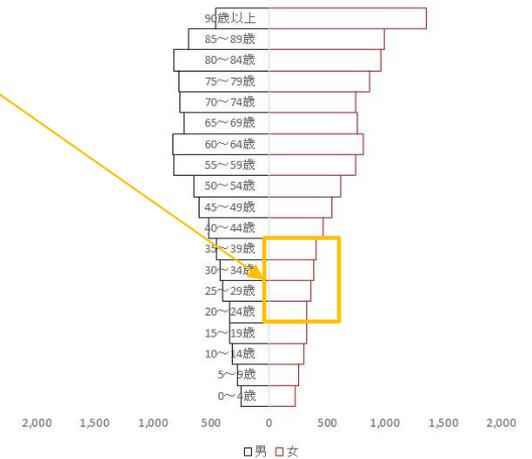
140人



2060年

43人

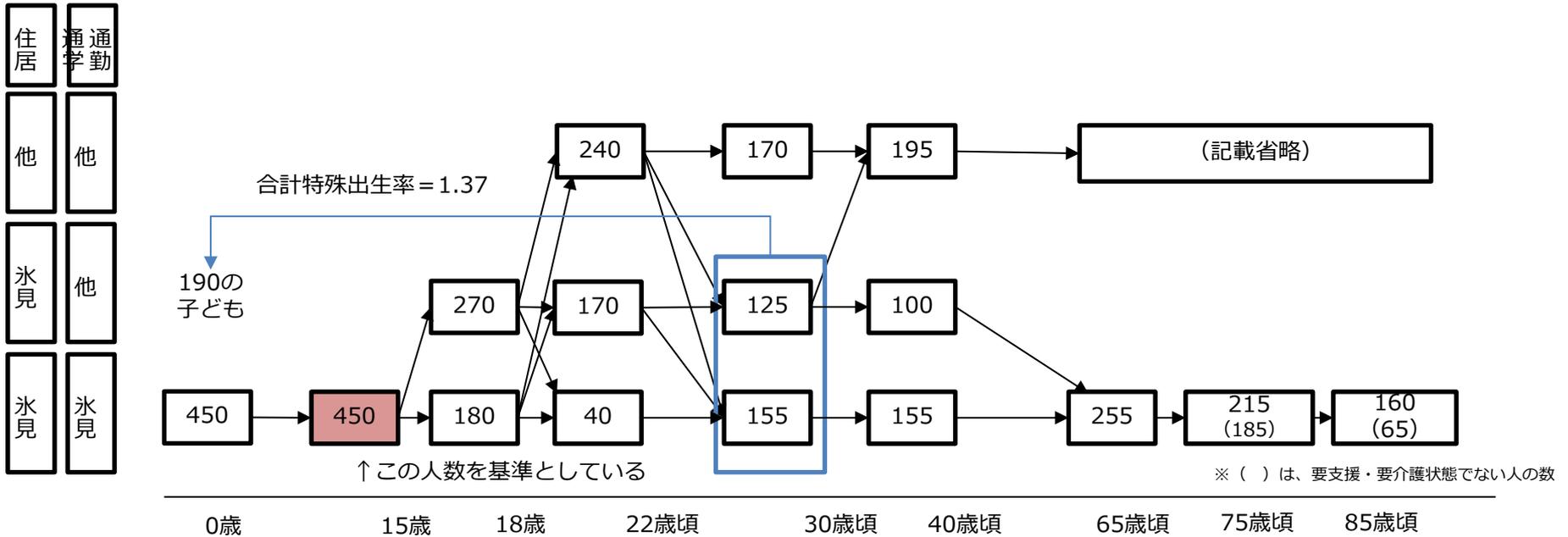
2060年の人口構成（氷見市全体）



※布勢地区の2060年の20~39歳までの女性人口については、布勢地区の2010年の人口に、氷見市全体の2010年→2060年の比率を乗じて算出  
 ※2060年の人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所の算定式をベースとした推計値を利用

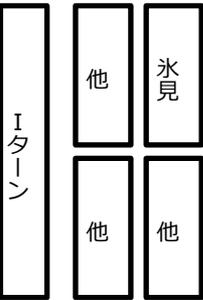
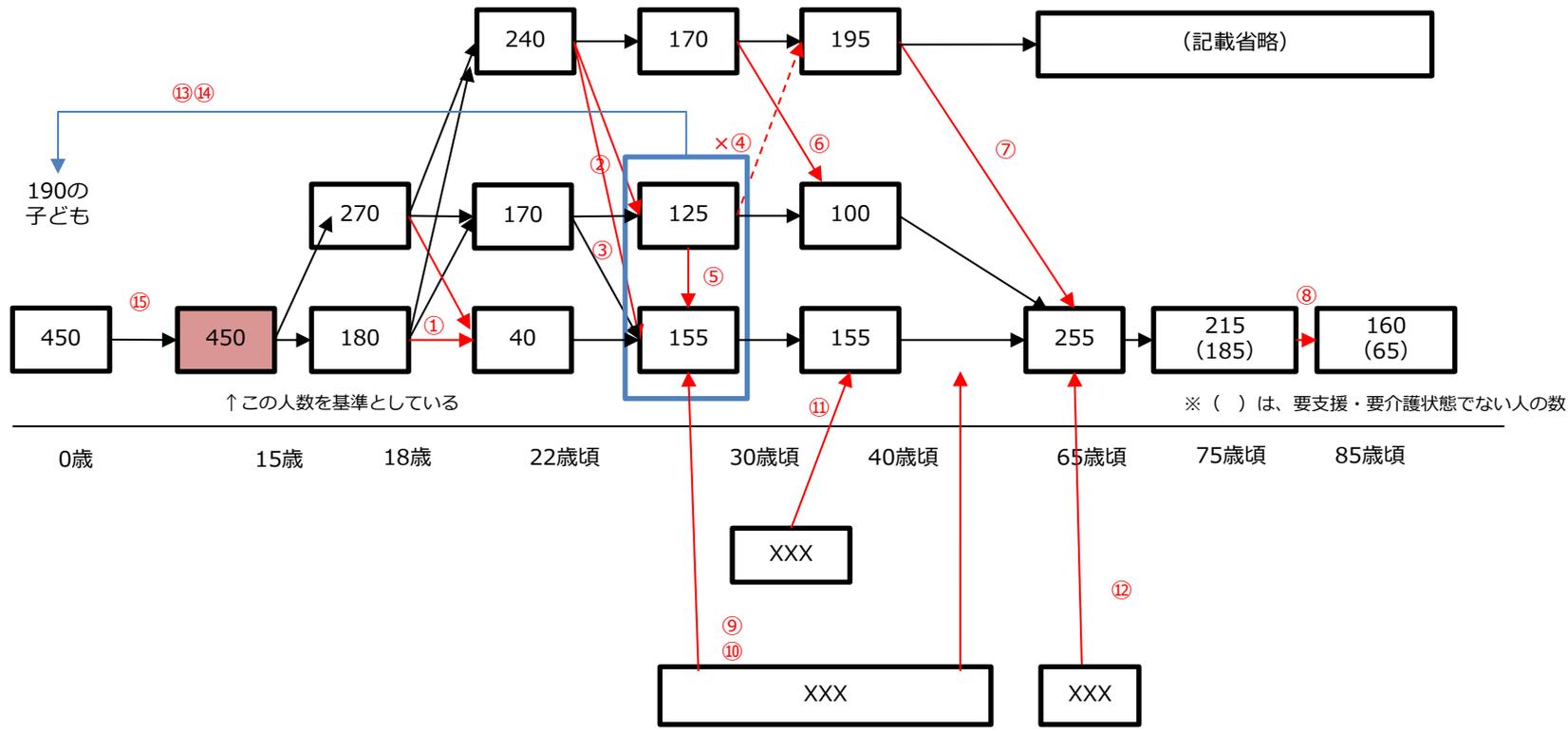
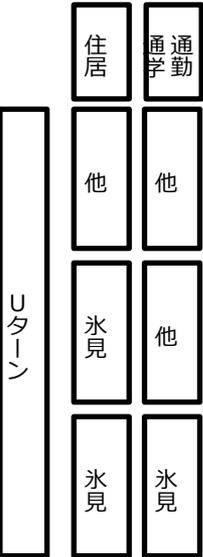
# 【現状】氷見市の中学生が卒業後に、どこに居住・通勤通学をするか？（※単位：人）

※450人（平成23年度～平成26年度に氷見市内の中学校を卒業する人数を参考とした数）を基準とした



※上記のモデルは、氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、resas『富山県氷見市 年齢階級別純移動数の時系列分析』、S55～H22年国勢調査、とやま統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口」および「平成26年富山県の人口」、H25～H27ハローワーク氷見の資料、resas経由で取得した『人口動態調査』、公益財団法人 生命保健文化センター資料（元データは厚生労働省「介護給付費実態調査月報（平成26年7月）」総務省「人口推計月報（平成26年7月）」）、国立社会保障・人口問題研究所の氷見市の生残率、住民基本台帳のH26出生数をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を実施。

# 【未来】希望をかなえ、持続可能な社会にするための「氷見市15の戦略」



- ①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
- ②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす
- ③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
- ④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
- ⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす
- ⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
- ⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす

- ⑧【安心な暮らし】長生きをする&健康寿命を伸ばす
- ⑨【ひとの流れ】20~40代のIターンを増やす
- ⑩【しごと】20~40代のIターン者が就きたい仕事を増やす
- ⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
- ⑫【ひとの流れ】定年後のIターンを増やす
- ⑬【結婚】婚姻数を増やす
- ⑭【出産】出生数を増やす
- ⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

# 人口流出を防ぐ／流入を増やすために現状から積み増したい具体的人数

年あたり純移動数の増加人数  
 ※現在の純減数を基準として、年間で更に積み増す目標人数

氷見市全体

布勢地区の場合

(氷見市全体の1/3 3の人数を記載)

## 【観点との関連】

⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす

※高卒の仕事に就いた瞬間に純増しないと想定されるので、ゼロとした  
 (⑤と⑩に寄与することを想定)

②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす

③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす

④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす

⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす

⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす

⑨【ひとの流れ】20～40代のIターンを増やす

⑩【しごと】20～40代のIターン者が就きたい仕事を増やす

⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす

⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす

⑫【ひとの流れ】定年後のIターンを増やす

全体	150人の 純増
0～4歳→5～9歳	15
5～9歳→10～14歳	0
10～14歳→15～19歳	0
15～19歳→20～24歳	0
20～24歳→25～29歳	75
25～29歳→30～34歳	20
30～34歳→35～39歳	20
35～39歳→40～44歳	5
40～44歳→45～49歳	0
45～49歳→50～54歳	0
50～54歳→55～59歳	0
55～59歳→60～64歳	0
60～64歳→65～69歳	15
65～69歳→70～74歳	0
70～74歳→75～79歳	0
75～79歳→80～84歳	0
80～84歳→85～89歳	0
85歳以上→90歳以上	0
合計	150

約0.5人

約2.2人

約0.6人

約0.6人

約0.1人

約0.5人

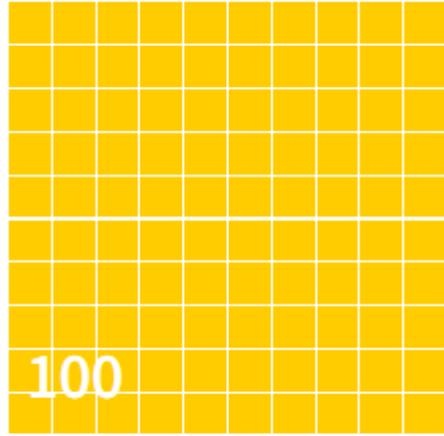
約4.5人

※人数配分については、推進協議会を経た後で変える可能性があります

※社会純増の人数は年間的人数。推計条件に従った厳密な計算では、5年間の社会純増数を5で除いたものです。例えば、150人の純増のうち、20～24→25～29歳の人数は75人ですが、推計上は5年で375人という単位で計算したものです

# 合計特殊出生率が上昇し、前ページの目標（積み増したい人数）を達成した場合の布勢地区の人口

2010



合計約51,000人



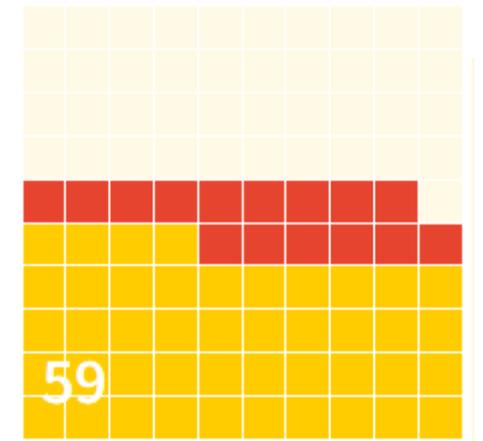
合計特殊出生率  
1.37 → 2.07  
にする

転入者数（年間）  
1.5人増やす

転出者数（年間）  
3.5人減らす  
※もしくは戻って来る人を3.5人増やす

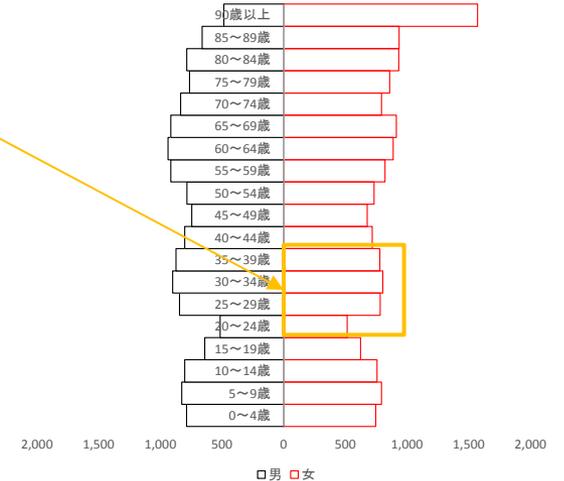


2020 2030 2040 2050 2060



合計約23,000人 → 30,000人

## 2060年の人口構成（氷見市全体）



氷見市全体の20-39歳までの女性人口

2010年 4,824人 → 2060年 2,880人

布勢地区の20-39歳までの女性人口

2010年 140人 → 2060年 83人

※布勢地区の2060年の20~39歳までの女性人口については、布勢地区の2010年の人口に、氷見市全体の2010年→2060年の比率を乗じて算出  
 ※2060年の人口構成は、氷見市人口ビジョンより

# 地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ② 各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③ いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q 1. **布勢**地区へ、転入者を毎年1.5人多く増やすために、  
どんなことをすればよいでしょうか。

Q 2. **布勢**地区から転出者した方を、毎年3.5人多く戻すために、  
どんなことをすればよいでしょうか。

# 意見交換

布勢地区代表  
中野 正隆 様